

政策会議 議事概要

- 1 日 時 令和元年8月28日(水) 15時12分～15時34分
- 2 場 所 第一会議室
- 3 出席者 市長、両副市長、総合政策局長、総務局長、財政局長、総務局次長、
総合政策部長及び所管局長、所管部長
- 4 議 題 千葉都市モノレール延伸計画について【方針決定】
(都市局都市部)

[審議事項]

- ・ モノレール延伸計画、通称病院ルート(県庁前～市立青葉病院間)については、再検証の結果、延伸計画を廃止とし、都市計画法に基づく諸手続きを進める。
- ・ 稲毛ルート(穴川駅～稲毛海岸駅間)については、検証の結果、モノレール導入は行わない。

都市局長、都市部長

～資料に沿って説明～

(質問・意見等)

鈴木副市長 「まとめ・結論」において、「既に決定している都市計画ルートについても廃止する。」とある。既に決定している都市計画ルートとは末広ルートの話だと思うが、亥鼻を通るルートが都市計画決定されているルートだと勘違いされてしまうので留意したほうが良い。

市長 8,770人の根拠が既存バス路線の100%転換ということだが、平成17年3月の時点において、規制緩和による自由参入は予見できたのか。

都市局次長 規制緩和は平成14年だったので予見できたが、その2年後に調査報告書を出しており、そのころは「転換できるだろう」くらいの考えだったのではないか。

市長 費用便益比にすべてが表れているわけだが、「なぜこんな差が出るのか。」と聞かれたときに、私の立場としては、「一言でいうと、甘かったということに尽きる。」という言葉が一言目に出て、二つ目に、「より詳しく説明すると、100%スライドを見ていた。」となる。規制緩和がなされているため、現実的な数値ではなく、事業採算性を上げるために、少し無理をした推計のもとで8,770人という数字が導き出されてきた、と考えている。今回は現実的に調査したところ3,200人になり、事業採算性はないと判断する、そういうことになるのだろう。

都市局長 評価については、「甘い推計だった。」ということに尽きる。

市長 有識者が指摘するような道路の話で言えば、亥鼻キャンパス前の拡幅事業をやっており、バスの走行環境の整備をすでに行っている。

方針決定する。

— 結果 —

決定事項のとおり、方針決定する。

5 照会先

- ・会議の運営等について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043 (245) 5057

- ・議題について

都市局都市部交通政策課

TEL 043 (245) 5568